

HISAKA

株主通信

2016

第87期 2015年4月1日から
2016年3月31日まで

 株式会社 日阪製作所



当連結会計年度の世界経済は、雇用環境や個人消費の堅調な米国経済が牽引したものの、中国経済の成長鈍化や原油安が中東産油国及び新興国経済にマイナス影響を及ぼすなど、不透明な状況で推移いたしました。

また、わが国経済は、上半期においては大企業を中心とした業績回復や雇用環境の改善、設備投資需要の向上もあり、緩やかな回復傾向で推移しましたが、年明けから進行した円高や株価低迷等もあり、景況感の悪化が見られました。

このような状況の下、当社グループにおきましては、国内設備投資需要の取り込みや海外プラント案件への対応に注力するとともに、中期経営計画「G-14」で掲げる成長戦略のもと、国内外の販売チャネル整備など積極投資を進めました。

以上の結果、当社グループにおける受注高は、バルブ事業及びその他事業において大口案件が減少したものの、熱交換器事業において船舶、機械金属、電力向けが増加したことや、生活産業機器事業において医薬用滅菌装置の大口受注などもあり、前年度から1.5%増加の25,770百万円となりました。

売上高に関しましては、大口案件等の受注残が多かった熱交換器事業及びバルブ事業の増収により、その他事業の減収分を補うことができたことから、前年度から4.1%増加の25,393百万円となりました。

利益に関しましては、円安による競争力改善や生産性向上の取り組み等による原価低減を進めたものの、熾烈な価格競争や営業戦略上受注した低採算の海外大口案件の売上、子会社事業の低迷等もあり、営業利益は前年度から11.7%減少の1,184百万円、経常利益は前年度から16.3%減少の1,532百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益については、中国子会社におけるのれん償却額の一括計上や減損損失等を計上しましたが、それを大幅に上回る有価証券売却益を計上したことにより、前年度から104.6%増加の2,688百万円となりました。

2017年3月期の通期予想は、売上高24,600百万円、営業利益1,320百万円、経常利益1,620百万円、親会社株主に帰属する当期純利益2,090百万円の見込であります。

株主の皆さまには、何卒今後とも一層のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2016年6月 代表取締役社長 前田 雄一

単位：百万円

区分	年度	第83期 (2012年3月期)	第84期 (2013年3月期)	第85期 (2014年3月期)	第86期 (2015年3月期)	第87期 (当期) (2016年3月期)
受注高		24,404	22,953	23,082	25,391	25,770
売上高		23,368	23,699	23,181	24,398	25,393
営業利益		2,262	2,259	1,757	1,342	1,184
経常利益		2,568	2,549	2,268	1,831	1,532
親会社株主に帰属する当期純利益		1,395	1,721	1,480	1,313	2,688
1株当たり当期純利益(円)		43.04	54.62	48.50	44.01	90.04
総資産		50,830	50,657	55,129	63,252	58,473
純資産		41,612	43,164	45,985	50,963	47,191
1株当たり純資産額(円)		1,305.43	1,398.02	1,539.75	1,706.50	1,580.27

トピックス

Topics

2015年10月より、障がい者スポーツの支援を通じた共生社会の実現に寄与するため、アスリートとして活動する障がい者の方を雇用し、貴重な戦力として業務に従事して頂くとともに、競技活動に対する支援を行っております。



櫻井杏理
Anri Sakurai

櫻井杏理 選手
競技歴 2年

車いすフェンシング/フルーレ・エペ

ワールドカップ/UAE (2015)	ベスト16
世界選手権/ハンガリー (2015)	18位
アジア選手権/香港 (2016)	6位・5位



中村智太郎
Tomotarou Nakamura

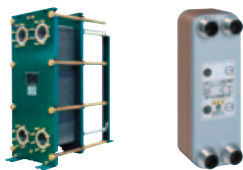
競泳男子/100m平泳ぎ

アテネパラリンピック (2004)	3位
北京パラリンピック (2008)	5位
ロンドンパラリンピック (2012)	2位

中村智太郎 選手
競技歴 20年

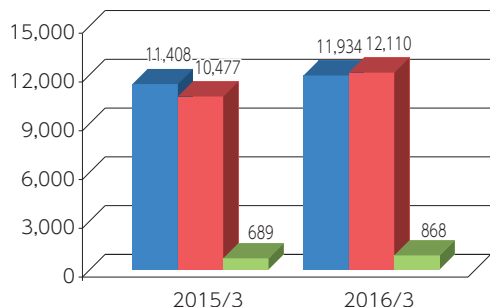
熱交換器事業

Heat Exchanger



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益

単位：百万円



当事業における受注高は、海外では肥料プラントやコンテナ船及び大型部品受注があったものの、中国の経済成長鈍化や原油安の影響もあり下半期では伸び悩みました。一方、国内での船舶関連や機械金属、電力関連が好調に推移し、またメンテナンス需要においても化学・電力向けで堅調に推移したことから、前年度から4.6%増加の11,934百万円となりました。

売上高に関しましては、国内の好調な受注環境を反映した汎用機種の上増や、海外大口案件の上増計上等により、前年度から15.6%増加の12,110百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、低採算の海外大口案件の上増があったものの、売上高の増加要因に加え、生産性向上及び原価低減による採算改善等を進めたことにより、前年度から26.0%増加の868百万円となりました。

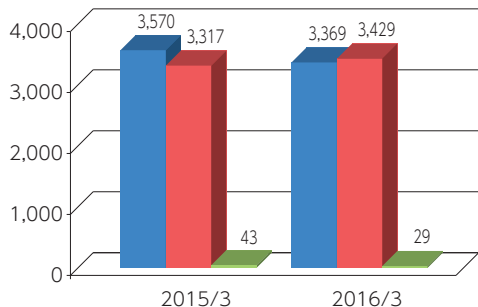
バルブ事業

Valve



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益

単位：百万円



当事業における受注高は、鉄鋼向けでの設備改修等により好調に推移したものの、昨年好調であった環境関連受注の減少や石油化学でのプラント案件の減少が影響したことから、前年度から5.6%減少の3,369百万円となりました。

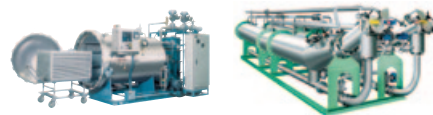
売上高に関しましては、鉄鋼向け売上の上増や、中国、インドネシア向け大口案件の上増計上により、前年度から3.4%増加の3,429百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、売上の上増があったものの、大口案件での価格競争激化や販売価格の低迷もあり、前年度から33.1%減少の29百万円となりました。

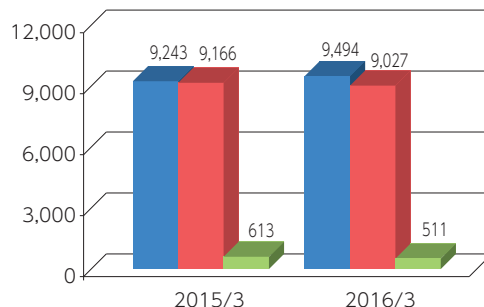
当事業における受注高は、染色仕上機器では中国やASEAN地域の景気鈍化に加え、国内企業の設備投資減少の影響もあり、前年度を下回ることとなりました。一方、食品機器において、レトルト自動化プラントや濃縮装置が好調に推移したことや、医薬機器において、輸液向け滅菌装置の大口案件が数件あったことから、当事業全体では前年度から2.7%増加の9,494百万円となりました。

売上高に関しましては、医薬機器の輸液向け滅菌装置の売上増がありました。染色仕上機器の受注減少の影響等により、前年度から1.5%減少の9,027百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、売上高の減少に加え、先行投資による経費増加等もあり、前年度から16.6%減少の511百万円となりました。



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益
単位：百万円



その他事業

当事業は、国内外の子会社事業及び発電事業であります。

受注高に関しましては、マレーシア子会社が比較的好調に推移したものの、中国の景気減速により現地子会社が依然低水準で推移し、国内子会社においても大口案件が少ない状況で推移したことから、前年度から2.7%減少の2,541百万円となりました。

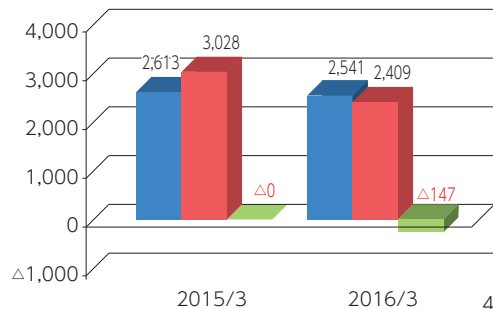
売上高に関しましては、前年度末の受注残高が少なかったことに加え、当年度の受注も低調であったことから、前年度から20.4%減少の2,409百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、中国子会社事業・国内子会社事業及び発電事業が損失計上となったことから、前年度を下回る147百万円のセグメント損失（前年度は0百万円のセグメント損失）となりました。

※セグメント別業績は内部取引消去前の金額であります。



■ 受注 ■ 売上 ■ 利益
単位：百万円



連結財務諸表 (要約)

単位：百万円

科目	2015年3月末	2016年3月末	増減	前年度末比
資産の部				
流動資産	25,254	29,642	4,388	117.4%
現金預金	9,237	12,183		
売上債権	8,628	10,008		
棚卸資産	4,751	4,310		
その他	2,637	3,139		
固定資産	37,998	28,831	△ 9,167	75.9%
有形固定資産	12,019	11,521		
無形固定資産	275	295		
投資その他の資産	25,703	17,013		
資産合計	63,252	58,473	△ 4,778	92.4%
負債の部				
流動負債	7,822	9,416		
固定負債	4,466	1,865		
負債合計	12,289	11,282	△ 1,007	91.8%
純資産の部				
株主資本	41,046	43,191	2,145	105.2%
資本金	4,150	4,150		
資本剰余金	8,814	8,814		
利益剰余金	30,488	32,634		
自己株式	△ 2,406	△ 2,406		
その他の包括利益累計額	9,903	3,988	△ 5,914	40.3%
非支配株主持分	13	11	△ 2	80.9%
純資産合計	50,963	47,191	△ 3,771	92.6%
負債純資産合計	63,252	58,473	△ 4,778	92.4%

単位：百万円

科目	2015年3月	2016年3月	増減	前年度比
売上高	24,398	25,393	995	104.1%
売上原価	19,453	20,105		
売上総利益	4,944	5,287	342	106.9%
販売費及び一般管理費	3,602	4,102		
営業利益	1,342	1,184	△ 157	88.3%
営業外収益	510	364		
営業外費用	21	17		
経常利益	1,831	1,532	△ 299	83.7%
特別利益	169	4,108		
特別損失	9	1,137		
税金等調整前当期純利益	1,991	4,503	2,511	226.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,313	2,688	1,374	204.6%

連結貸借対照表

連結損益計算書

会社の概要 (2016年3月31日現在)

社名 株式会社日阪製作所
英文社名 HISAKA WORKS, LTD.
会社設立 1942年5月5日
代表者 代表取締役社長 前田 雄一
資本金 41億5,000万円
発行済株式総数 32,732,800株
株主数 3,046名
従業員数 連結643名 単体503名
主要な営業所及び工場

- ・本社 大阪市北区曽根崎二丁目12番7号
- ・東京支店 東京都中央区京橋一丁目19番8号
- ・名古屋支店 名古屋市中区栄一丁目12番17号
- ・九州支店 福岡市博多区博多駅前一丁目15番20号
- ・北九州支店 北九州市小倉北区紺屋町9番1号
- ・鴻池事業所 東大阪市東鴻池町二丁目1番48号

主要な子会社

- ・マイクロゼロ株式会社 (東京都立川市)
- ・HISAKAWORKS S.E.A. SDN. BHD. (マレーシア)
- ・日阪 (中国) 機械科技有限公司 (中国)

グローバルネットワーク



役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役社長	前田 雄一
専務取締役	中村 淳一
常務取締役	岩本 等
常務取締役	竹下 好和
取締役	船越 俊之
取締役	井上 哲也
取締役	太田 光治
取締役	富安 達二
取締役	加藤 幸江
常勤監査役	山田 卓夫
監査役	三浦 博文
監査役	仲井 晃

会計監査人 (2016年6月29日現在)

太陽有限責任監査法人

株式の状況 (2016年3月31日現在)

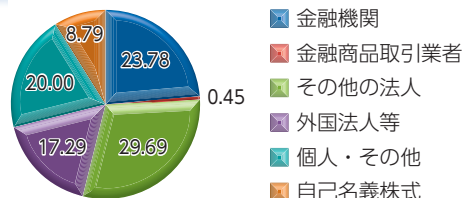
Stock

発行可能株式総数 129,020,000株
発行済株式総数 32,732,800株
自己株式数 2,876,926株
株主数 3,046名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数及び持株比率
日新製鋼株式会社	2,903,264株 8.86%
株式会社日阪製作所	2,876,926株 8.78%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,160,200株 3.54%
日本生命保険相互会社	960,770株 2.93%
株式会社三菱東京UFJ銀行	912,640株 2.78%
困幡電機産業株式会社	910,802株 2.78%
BBH BOSTON FOR NOMURA JAPAN SMALLER CAPITALIZATION FUND 620065	750,700株 2.29%
JUNIPER	746,000株 2.27%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	711,200株 2.17%
野村信託銀行株式会社(信託口)	644,700株 1.96%

所有者別持株比率 (%)



株主メモ

事業年度: 毎年4月1日から翌年3月31日まで

基準日: 定時株主総会 3月31日

期末配当金 3月31日

中間配当金 9月30日

(その他必要のあるときは、あらかじめ公告いたします。)

公告方法: 電子公告(当社ホームページ)

(但し、電子公告によることが出来ない事故その他やむを得ない事由が生じた時は、日本経済新聞に掲載して行う。)

ホームページ: <http://www.hisaka.co.jp/>

定時株主総会: 6月中

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関: 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先: 〒541-8502

大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

電話0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所: 東京証券取引所 市場第1部

証券コード6247

(ご注意)

- 株主さまの住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。